



2011~2012年度  
国際ロータリーのテーマ  
こころの中を見つめよう  
博愛を広げるために  
2011~2012年度  
RI会長 カルヤン・ハネルジー

# WEEKLY REPORT

ROTARY CLUB OF NAGOYA MIZUHO

創 立 : 1980年(昭和55年)1月10日  
会 長 : 高須 洋志  
幹 事 : 馬場 将嘉  
クラブ広報委員長 : 関谷 俊征  
例 会 日 : 毎週木曜日 PM12:30~  
会 場 : ヒルトン名古屋

事 務 局 : 460-0008  
名古屋市中区栄1丁目3-3  
ヒルトン名古屋910号  
T E L : 052-211-3803  
F A X : 052-211-2623  
M A I L : 2760\_nagoya@mizuho-rc.jp  
U R L : http://www.mizuho-rc.jp/

## 第1552回例会

2012年5月31日(木) 晴 第42回

~出席奨励月間~  
クラブテーマ:「熱田の杜・友愛・気品」

司 会 : 伊藤豪会場副委員長  
斉 唱 : 「日も風も星も」「四つのテスト」  
ゲ ス ト : 愛知学院大学歯学部  
口腔インプラント科教授 村上弘さん  
ビ ジ タ ー : 盛田宏さん(名古屋RC)

### 副会長挨拶

吉木洋二副会長

本日5月31日は『世界禁煙デー』です。分煙も進んだからか、この頃はあまりうるさく言われなくなった気がしますが、それで良いと思います。しかし、若い娘が歩き煙草をしたり、車の運転をしながら顎を突き出して、ふてくされた顔で煙草を吸っている姿を見掛けると、こいつはただけなないと思います。



今日は泥棒、空き巣についてお話しします。実は2週間前の木曜日の夜中に忍び込み泥棒に入れそうになりました。朝7時に警報のランプがついているのに気付いて調べてみると、1階の診察室の窓ガラスが割られ、鍵が外され、引き戸の留め金も取れていましたが、幸い警報装置が働き、逃走したようでした。我々は熟睡していて全く警報が鳴ったことに気が付きませんでした。そこで家内とセコムにでも入った方が良いだろうかと話していると、7時30分に「もしもし、小田です。御器所にいる知り合いの人が、吉木先生セコムに入ってくれないかな〜と言っています。それだけです。」と、少し知恵遅れの中年の患者でもある男性からの電話がありました。なんだこれはと思いましたが、取り敢えず犯人が我々の対応をチェックしているかもしれないので、警察に連絡し、調査して頂き、ガラス屋さんに修理をしてもらいました。翌日、損害保険会社の方にも相談すると、「警備会社は社員に犯人とは対面しないように指導していると言いますからね。」と言われ、実際にその方の家も1年前にごっそり盗られたそうです。アルソックにも訊いてみようかと友人に紹介してもらい、現在相談中です。月額25,000円を20,000円にするのでどうかと言われていますが、1年で24万円、10年で240万円が掛かります。泥棒に入られても240万円も盗られることはないだろうと考えると悩みます。

瑞穂RCのメンバーの中にも泥棒に3回入られた方を存じていますが、他にも何人かおられるのではないのでしょうか。インターネットで調べると、愛知県は泥棒に入られる件数が全国1位で7,076件、空き巣も4,711件で全国1位、忍び込み泥棒も全国1位、居空きが全国4位だそうです。県内1位は一宮市、続いて豊橋市、岡崎市、刈谷市、北名古屋市となっています。率で計算すると1,000件の住宅の内、1位が刈谷市…473件、続いて北名古屋市…466件、大治町…445件です。ちなみに昭和区…130件、瑞穂区…133件だそうです。空き巣の侵入方法としてはガラス割りが66%、無締りが20%、ドア破りが4.4%です。防犯には色々な対応策がありますので、皆様もご注意下さい。

### ニコボックス

近藤茂弘ニコボックス委員長

- ・3月の結婚記念日を忘れていました。5月の家内の誕生日にお花をありがとうございました。 **増田 盛英さん**
- ・妻の誕生日にきれいな花をありがとうございました。 **高木 元明さん**
- ・先日、妻の誕生日にきれいな花をいただき、妻が大変喜んでいました。ありがとうございました。 **湯澤 勇生さん**
- ・落ち込んでおります。 **内田 久利さん**
- ・八木沢さん、妹の件では色々お世話を掛けました。ありがとうございます。 **長坂 邦雄さん**
- ・次年度予定者会議を午後に行いますのでよろしくお願い致します。 **松波 恒彦さん**

### 出席報告

近藤茂弘出席委員長

会員68名 出席50名 (出席計算人数51名)

出席率 83.3%

5月24日は補填により 96.6%

### 幹事報告

馬場将嘉幹事

- ・本日13:40よりヒルトン名古屋9階「ことぶきの間」にて次年度予定者会議を行います。
- ・次週6月7日(木)は例会を12:30~14:10に延長して行います。
- ・同日14:20前後よりヒルトン名古屋9階「ことぶきの間」にて第12回理事会を行います。

### 研修終了証明書授与



RLI(Rotary Leadership Institute=ロータリー・リーダーシップ研究会)より松波恒彦さんに第3回目の研修終了証明書が授与されました。

### 卓話

愛知学院大学歯学部 口腔インプラント科教授 村上弘さん

### なぜインプラントなのか?



昨年9月にこの会場でインプラントについての『市民公開講座』を行わせて頂きました。インプラントについて、よく分からないけれども、興味があるという方が多くいらっしゃいます。我々も国際会議場で4,000名以上の方が参加する学会を行っています。またインプラントの学問的な裏付けや安全性をメインテーマとした学術大会を各地で開催しています。しかしインプラントによる死亡事故や事件が起きています。



また今年1月には、NHK『ズームアップ現代』で「歯科インプラントトラブル急増の理由」という番組が放映され、非常に患者さんが引いている状況です。主治医に対する不信感からか、治療途中で来院し、続きを行って欲しいという方や手術後に痛み・歯のぐらつき・腫れがある方、通っていた歯科医院が閉院してしまった方などが、当外来で急増しています。このように色々なトラブルがありますが、インプラントは患者さんに利益をもたらすものでもあります。インプラントは超高齢化社会である今の社会構造の変化に影響され、増えているのです。65歳以上を高齢者と言い、日本での人口比率は21%を超え、約3,000万人いらっしゃいます。アメリカや韓国での比率はまだ低く、日本の状況を世界が見守っているのが現状です。高齢化社会とは高齢者の割合が増えることですが、個人で考えると高齢まで生きることができるといえる事です。日本の平均寿命は男性は80歳ぐらい、女性は86歳ぐらいです。65歳以上を高齢者と定義していますが、そこから平均で男性は15年、女性は20年生きることができるといえるのです。ずっと健康で生きられれば良いのですが、実際には要介護者・寝たきり・重度の全身疾患・認知症などの患者さんが急増します。誰でも出来る限り長く自分の歯で美味しく食事をしたというのが本心だと思います。歯が1本もない総入れ歯の患者さんが最後の10年を自分の歯で食事したいと来院される事もあります。疾病や外的要因(人間関係のストレス・偏食・飲酒・喫煙・生活習慣の乱れ・睡眠不足・運動不足など)によって、年齢と共に様々な機能が低下していきます。長生きといっても、非常に個人差があります。こうした要因の1つに義歯やインプラントも影響している事が分かってきました。

『日本学術会議』では健康を維持するため、自然界にある食材を摂る事と噛む事が重要だと平成16年に宣言しています。我々が生物として自然な形で栄養を摂取できる事が歯科の究極の目的です。噛むためには強い歯と顎が必要です。噛む事で満腹中枢が活性化し、自然に食事が抑えられ、食べ過ぎを防ぎ、内臓脂肪の分解を促し、新陳代謝が促進されます。脳に刺激が行くことで、脳の血液量が増え、覚醒し、認知症予防や子供の知育の発達などの知能に対する効果があります。同じ80歳でも、全部の歯がある方から1本も無い方までおられます。病院では歯がほとんど無くても食べられる老人食が出されています。

現代は軟食が増え、噛む力もあまりいらなくなったので子供達の顎が小さくなり、噛む回数が減ったため脳に刺激が少なくなりました。さらに年齢と共に噛む力や回数は減少します。我々は高齢者の日常生活の基準判定(耳が聞こえるか、会話できるかなど)と噛む事との関連性について研究しています。高齢者でも自分で噛んで食事ができる方は自立し、行動力がある事が多く、歯が減るにしたがって寝たきりなど行動力の少ない方が多くなります。噛めなくなると一体脳はどうなるのでしょうか。脳の海馬は記憶を司り、ここが異常を起こすとアルツハイマーや老人性認知症になります。我々は奥歯を抜いたネズミと抜かないネズミを比較する研究を行いました。年齢と共にどちらも海馬の細胞の面積や細胞数は減りますが、歯を抜かないネズミは老年期から減るのに対し、抜いたネズミは中年期から減り始めます。そしてそのネズミの記憶力を調べるため、明るいとこから暗いところへ移動すると電気ショックを受ける装置でショックを受けた後、どれくらい記憶しているのかを実験しました。歯があると徐々に記憶が薄れるのに対し、歯が無いネズミはあっという間に記憶がなくなります。それにより歯が無くなると早い時期から認知症になる事が分かりました。

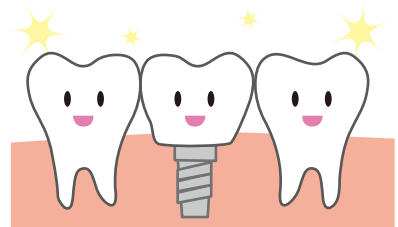
歯が無くなった時の治療方法としては義歯(部分入れ歯・総入れ歯)、ブリッジ(両隣の歯を土台とし、橋を架けるような形のもの)、インプラントがあります。義歯とブリッジは保険が適用されますが、インプラントは保険外治療です。部分入れ歯やブリッジは残っている歯に装着するため、義歯が動くと力が掛かり、破折するなどし、10年も経つと残った歯も無くなります。年齢・性別を問わず、物を噛む時にはおよそ70kgの力が掛かるので、1本でも無くなると一本あたりの負担がかなり大きくなります。全部自分の歯、

ブリッジ、部分入れ歯、総入れ歯の方々にピーナッツを20回噛んでもらい、どの程度かみ砕かれているかによって、きちんと噛めているかの実験をしました。すると総入れ歯の方は残った粒が大きく、歯が全部ある方の4分の1程しか噛めていませんでした。その為あまり固くない物を小さくして食べなければならないのです。

インプラント治療とは骨の中に主にチタン合金でできた人工の歯根を入れ、その上に歯を作っていきます。日本では60~80万人くらいの方がインプラント治療を受けています。歯肉を切り、骨に穴を開け、金属を埋め込むという、今までの入れ歯や差し歯とは全く違う治療です。インプラントを骨に埋める時、周りにある神経や血管を避けて手術しなければなりません。インプラントは他の治療と違い、抜けた歯の負担していた力を受けとめ、噛む力を分散させることができます。その他に残った自分の歯を守れることがインプラント治療の最大の魅力です。「インプラントは半永久的ですか?」という質問をよく受けますが、自分の歯でも50年保たないのですから、人工物であるインプラントが半永久的に保つはずはありません。インプラントの『10年保証』というのをよく見掛けますが、我々はそういったことは一切していません。インプラント自体が変わらなくても、受け止める側である自分の骨や体が段々と変わっていきます。50代、60代、70代では体の状況が全然違うので、治療を保証することはできないのです。「すぐに治療しましょう」というのも考え物ですので、そんな時はセカンド・オピニオンという制度を使って下さい。我々はインプラントという物を売っているのではなく、噛めるようになる手段としてインプラントを使っているだけです。愛知学院大学病院ではトラブルを避ける為にも非常に精密な検査を行い、1本50万円ほどで手術しています。もしもインプラントが抜けても、骨を移植するなどし、再手術することもできます。インターネットで情報を集めるのではなく、実際に病院で手術できるのかどうかやメリットやリスクを説明していただき、かかりつけのホームドクターに相談して下さい。高齢になってからも人生は長く、いつまでも自分の歯で美味しく食事をいただくことが認知症の予防になりますので、どうしようもなくなってから病院に行くのではなく、定期的に治療をなさって下さい。インプラント治療は諸刃の剣です。自分の歯のように噛めるようになりますが、色々なリスクを背負うことになります。信頼できる先生によく相談し、考えて行って下さい。

**Q.** 透析の患者さんにインプラントは適用されますか?

**A.** 透析の患者さんには適用されません。腎臓や肝臓に疾患のある方は出血、感染リスク等の問題があり、お断りしているのが現状です。インプラントに絶対的禁忌はほとんどありませんが、患者さんの病状や検査データを拝見させていただき、手術するかの判断をしています。



## 例会のご案内

### ■今週の卓話 6月7日(木)

卓話者:(財)GES 国際生態学センター長  
横浜国立大学名誉教授 宮脇昭さん  
テーマ:明日の豊かな生活を守るいのちの森づくり~名古屋から世界へ~

### ■次週の行事 6月14日(木) なごやか例会

### ■次々週行事 6月21日(木) 第5回クラブフォーラム

内容:委員会報告と次年度行事予定